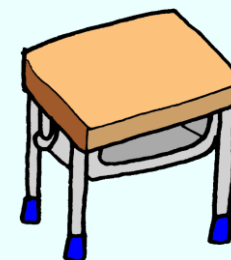




西部地域



市立小・中学校の  
将来のあり方について

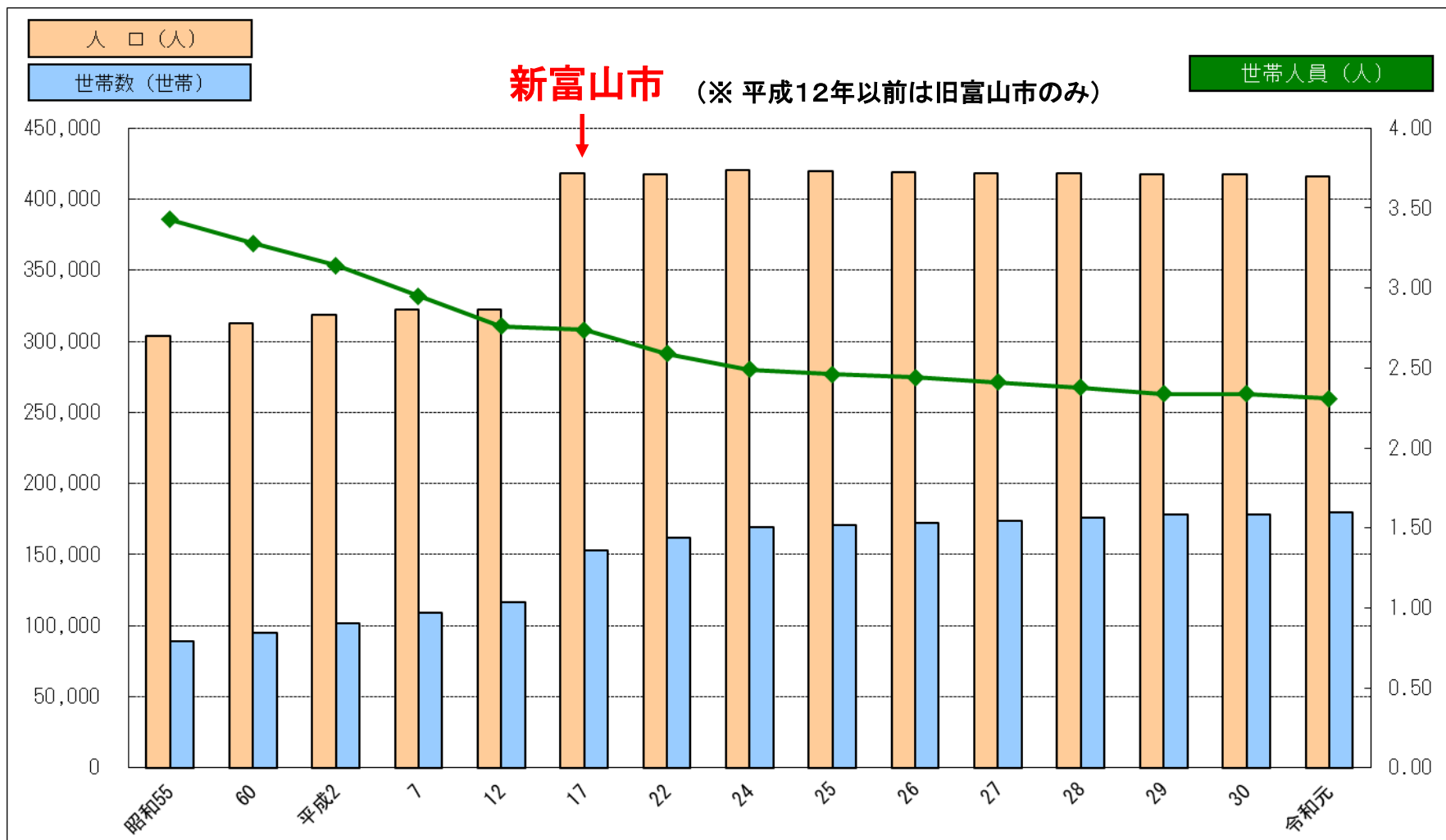


富山市教育委員会

# 1 富山市全体の状況

## (1) 人口の推移

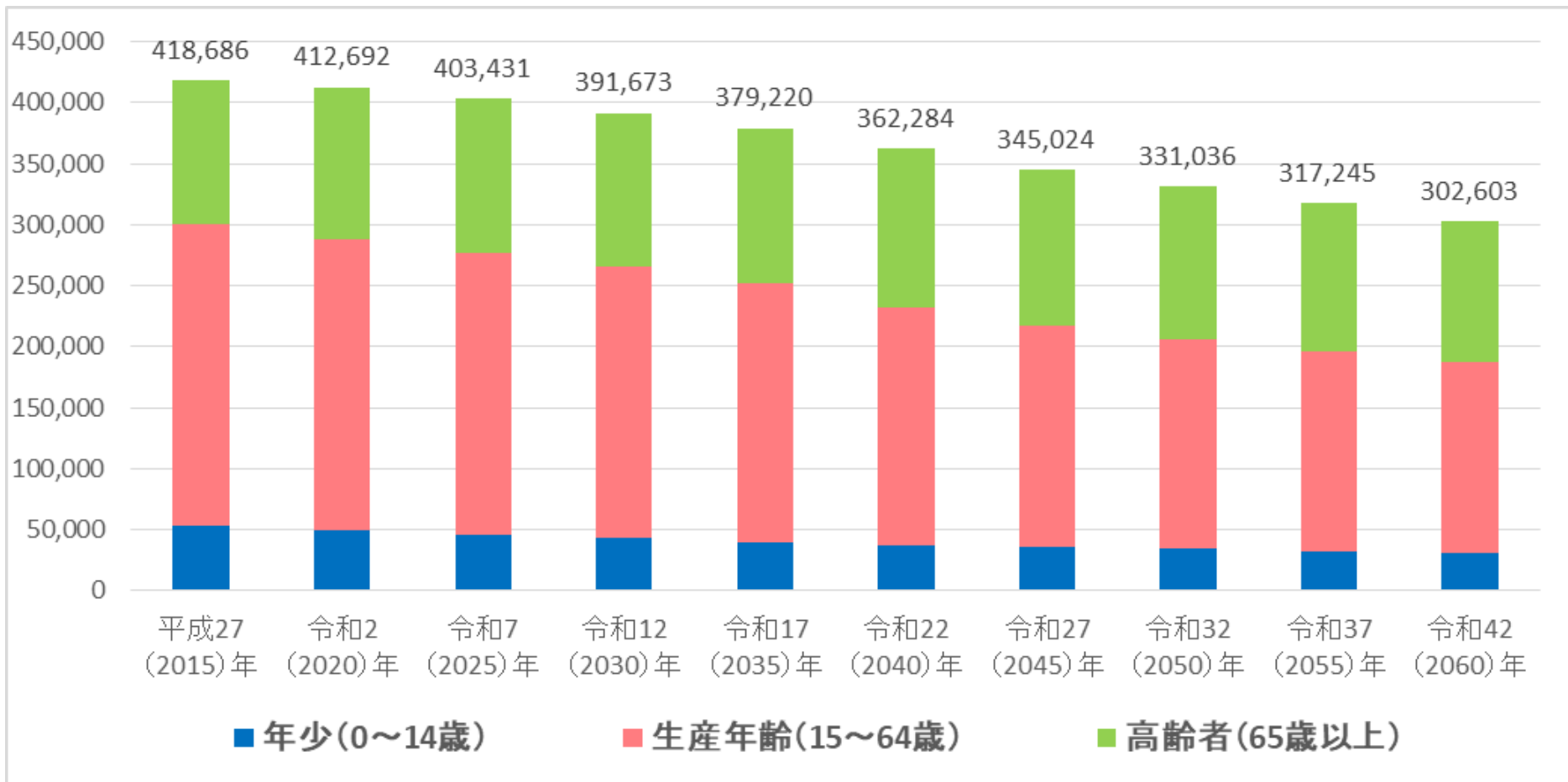
※ 各年9月末



# 1 富山市全体の状況

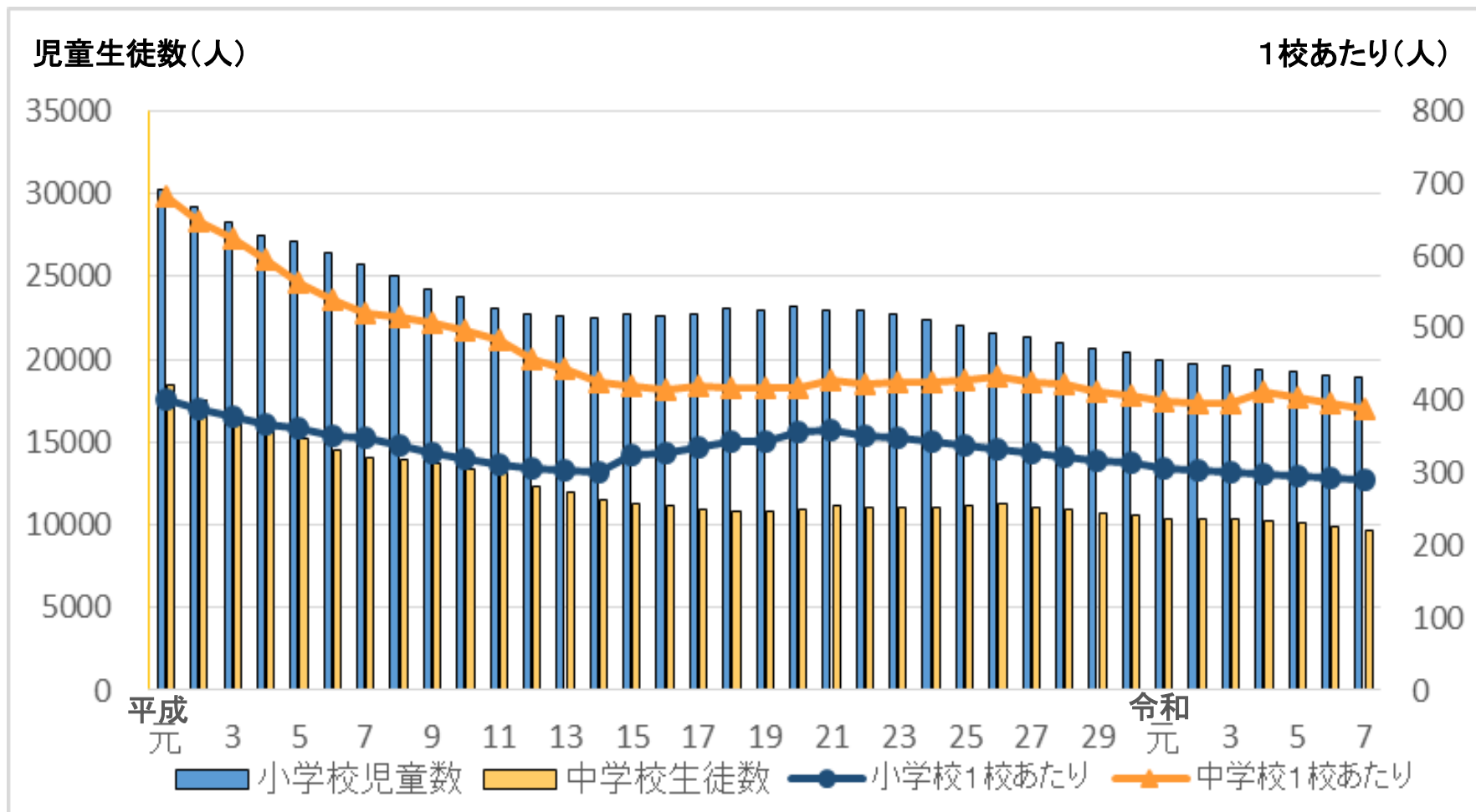
## (1) 人口の推移

人口(人)



# 1 富山市全体の状況

## (2) 市立小・中学校の児童生徒数の推移



# 1 富山市全体の状況

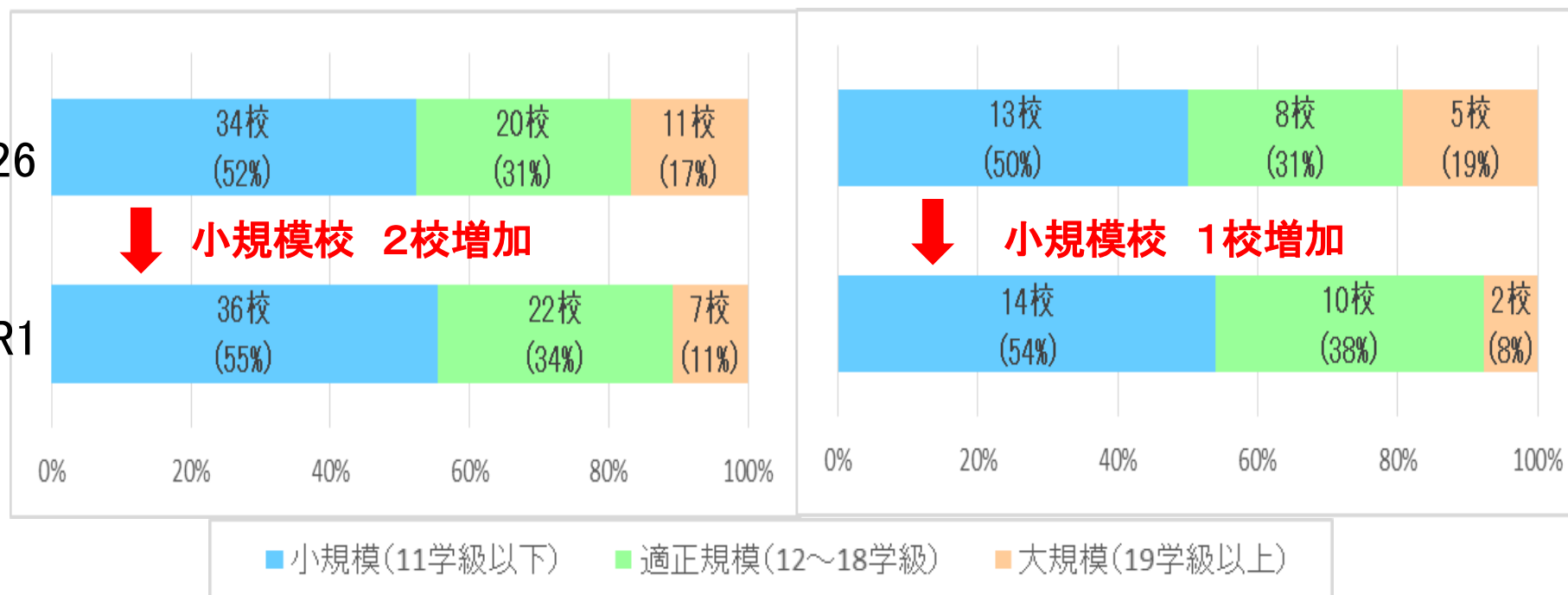
## (3) 市立小・中学校の学校規模

標準（適正規模）：1校あたり12～18学級

(※学校教育法施行規則)

### 小学校

### 中学校



市立小・中学校の5割以上が小規模校

## 2 西部地域の状況

### (1) 人口の推移

【内訳】

	H17	R1	
桜谷地区	5,747人→	5,708人	△ 39人
五福地区	9,969人→	10,079人	+ 110人
神明地区	4,340人→	4,305人	△ 35人
四方地区	3,947人→	3,421人	△ 526人
八幡地区	2,832人→	2,378人	△ 454人
草島地区	3,360人→	2,911人	△ 449人
倉垣地区	2,934人→	3,141人	+ 207人

人口(人)

35,000

34,000

33,000

32,000

31,000

0

平成 17

22

24

25

26

27

28

29

30

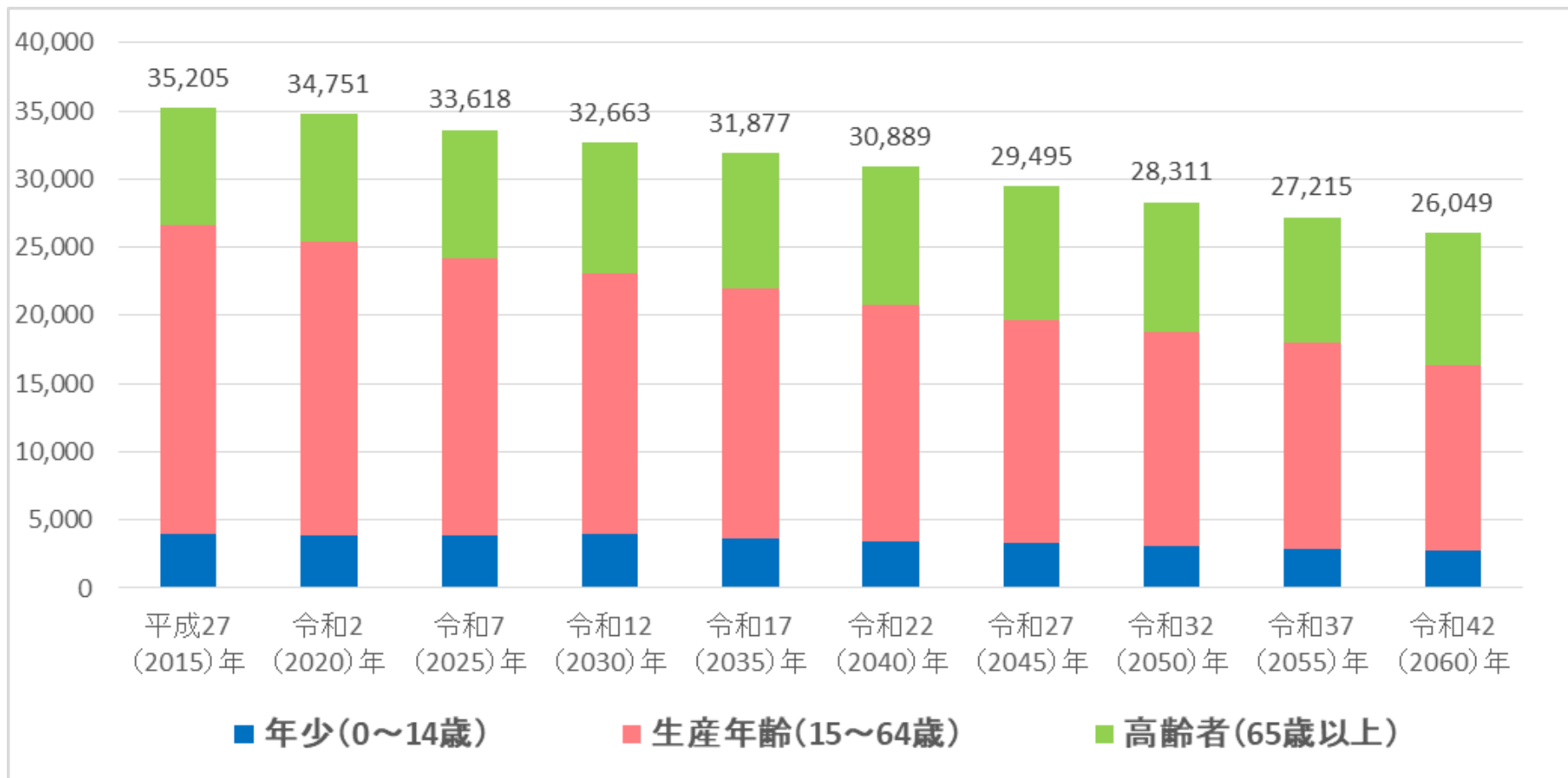
令和 元

※ 各年9月末

## 2 西部地域の状況

### (1) 人口の推移

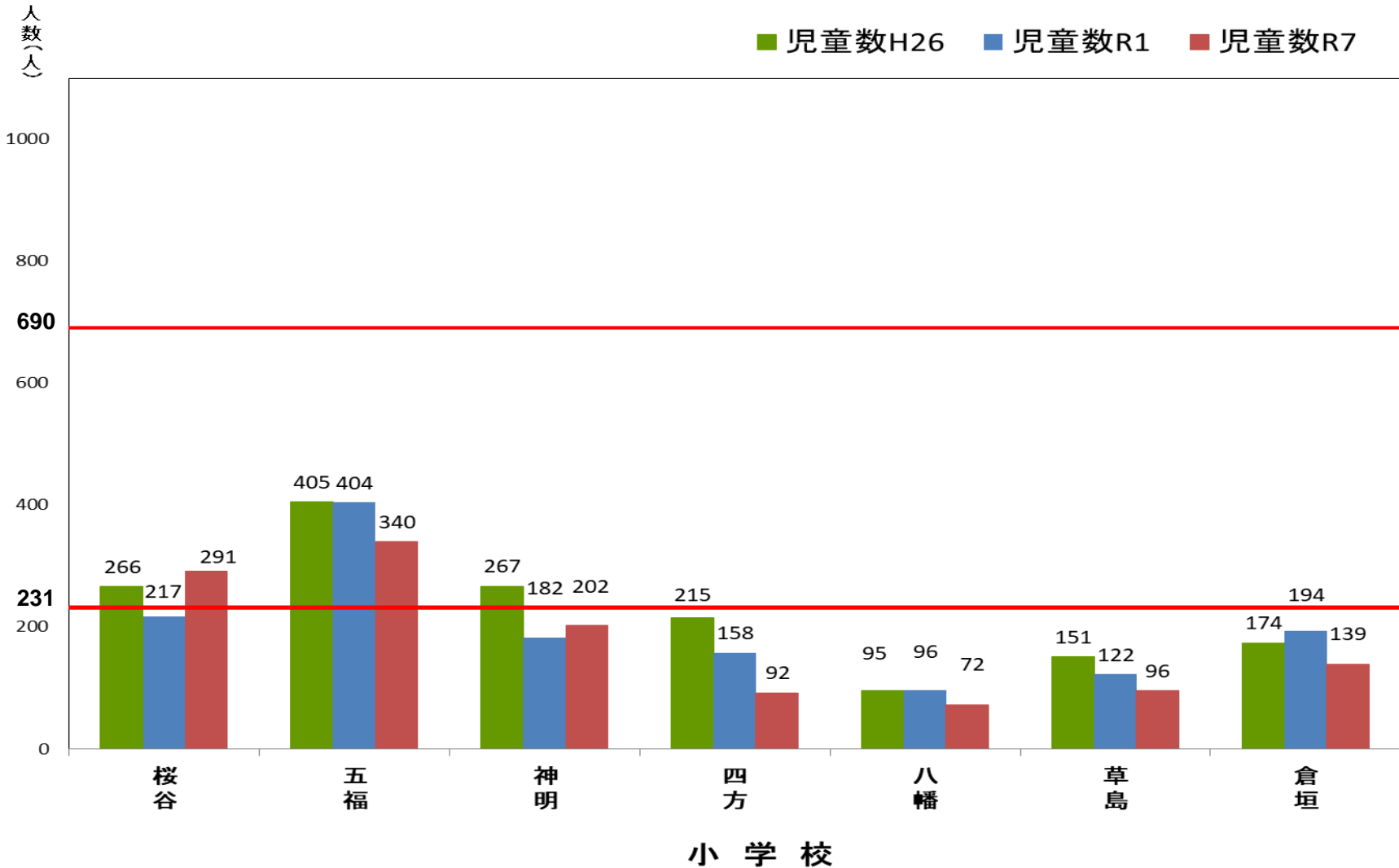
人口(人)



※「富山市公共施設マネジメント アクションプラン戦略編」の人口推計を基に作成

## 2 西部地域の状況

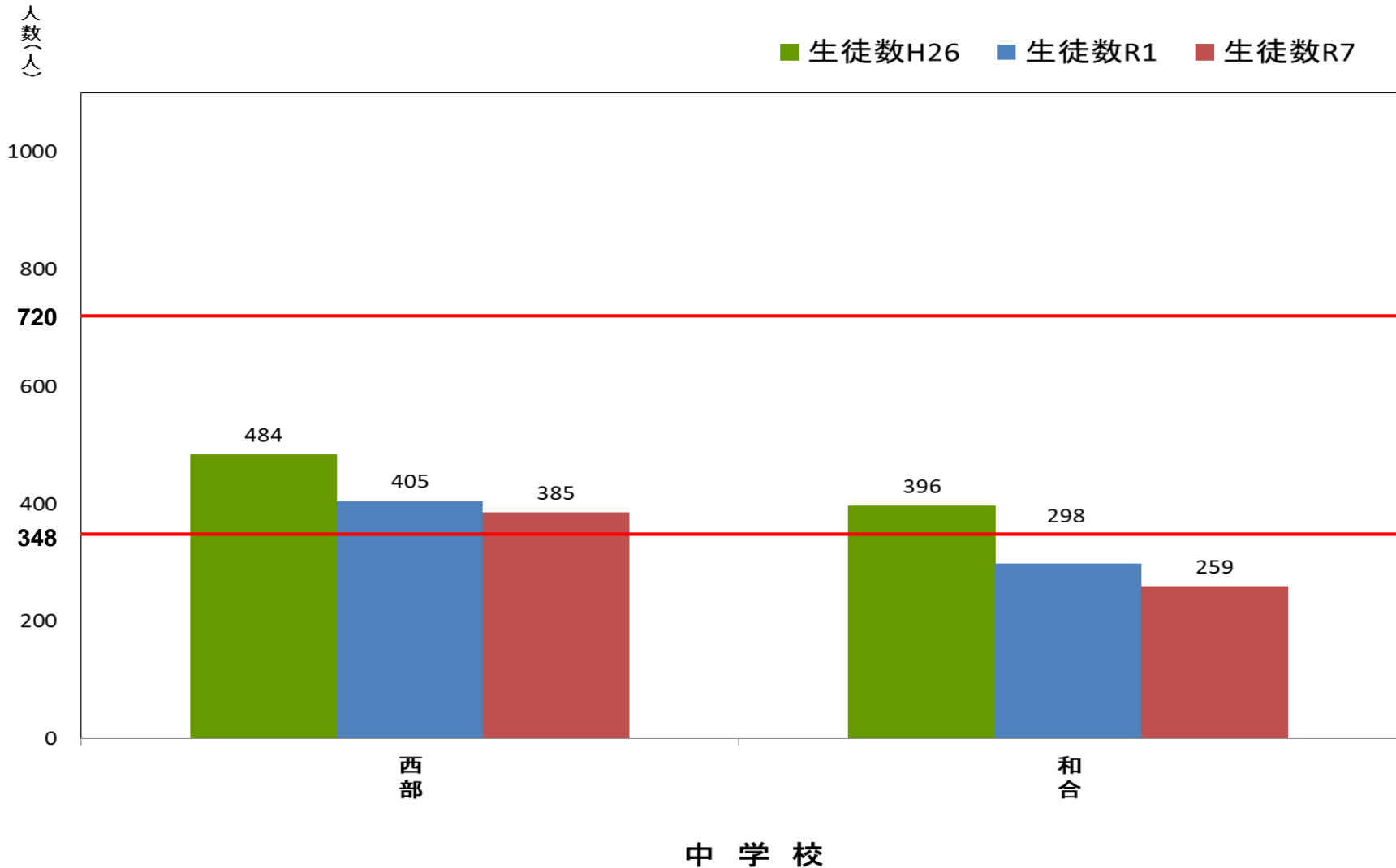
### (2) 児童生徒数の推移(見込み)





## 2 西部地域の状況

### (2) 児童生徒数の推移(見込み)



## 2 西部地域の状況

### (3) 学校規模の推移(見込み)

児童数(人)

小学校	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
桜谷小	H 2 6	12	40	39	49	46	42	50	266
	R 1	8	33	30	34	32	46	42	217
	R 7	11	47	42	48	55	62	37	291
五福小	H 2 6	12	72	65	68	75	72	53	405
	R 1	12	58	66	67	72	67	74	404
	R 7	12	48	62	51	47	64	68	340
神明小	H 2 6	12	41	37	41	45	49	54	267
	R 1	6	35	32	22	27	29	37	182
	R 7	8	39	38	29	32	33	31	202
四方小	H 2 6	7	34	32	34	34	43	38	215
	R 1	6	16	24	23	30	29	36	158
	R 7	6	9	17	11	11	20	24	92
八幡小	H 2 6	6	18	17	15	15	15	15	95
	R 1	6	20	10	15	13	19	19	96
	R 7	6	10	15	9	16	16	6	72
草島小	H 2 6	6	22	19	24	33	20	33	151
	R 1	6	20	16	24	21	20	21	122
	R 7	6	7	18	16	18	20	17	96
倉垣小	H 2 6	6	32	24	32	21	34	31	174
	R 1	7	27	33	29	31	42	32	194
	R 7	6	24	16	22	17	35	25	139

大規模 (19学級以上)

適正規模 (12~18学級)

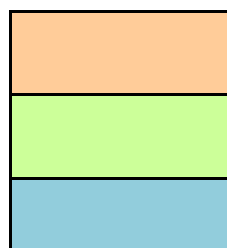
小規模 (11学級以下)

## 2 西部地域の状況

### (3) 学校規模の推移(見込み)

生徒数(人)

中学校	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	合計
西部中	H 2 6	14	136	167	181	484
	R 1	12	122	133	150	405
	R 7	12	129	129	127	385
和合中	H 2 6	12	134	136	126	396
	R 1	9	94	105	99	298
	R 7	9	85	84	90	259



大規模 (19学級以上)

適正規模 (12~18学級)

小規模 (11学級以下)



## 2 西部地域の状況

### (5) 学校の沿革(建物状況)

#### 桜谷小

H12 校舎大規模改造竣工

H24 プール新築竣工

#### 五福小

H27 校舎移転改築竣工

#### 神明小

S63 校舎改築竣工

H14 校舎増築竣工

## 2 西部地域の状況

### (5) 学校の沿革(建物状況)

#### 四方小

H1 校舎改築竣工  
H11 校舎増築竣工

#### 八幡小

H9 校舎大規模改造竣工  
H25 体育館改築竣工

#### 草島小

H4 校舎改築竣工

#### 倉垣小

H30 校舎大規模改造竣工  
R1 プール新築竣工

## 2 西部地域の状況

### (5) 学校の沿革(建物状況)

#### 西部中

H2 校舎増築竣工

R1 校舎改築工事実施設計

#### 和合中

S53 校舎改築竣工(普通教室棟)

S60 校舎改築竣工(管理・特別教室棟)

R1 校舎改築工事実施設計

### 3 小規模校における教育

#### (1) 小規模校のよさ

- 一人ひとりの子どもに対して、きめ細かな指導ができる。
- 学校行事で子どもたちの活躍の場が多い。
- 他学年や地域の方と交流活動がしやすく、親交を深められる



# 3 小規模校における教育

## (2) 小規模校の課題

### 小・中学校共通

- クラス替えがないため、多様な考えに触れる機会や、社会性や規範意識を身につける機会が得られにくい。
- 体育のバスケットボール等の団体競技や音楽の合唱等が行いにくい。
- 経験年数、専門性、男女比など、教員をバランスよく配置できない。

## 3 小規模校における教育

### (2) 小規模校の課題

#### 小学校

- 複式学級となる場合には、教員が複数学年分の指導準備を行うこととなり、各学年へのきめ細かい指導が行いにくい。
- 教務主任が学級担任を兼務するなど、一人の教員にかかる負担が大きくなる。

#### 中学校

- 9教科10科目すべての教員がそろわず、一部の教員が専門以外の教科の授業を行わなくてはならない。

※ 教科担当教員の配置 1校3学級→6人

⇒ 9教科10科目の対応が難しい

- 開設できる部活動の数に制約が生じる。

## 4 適正規模、適正配置に向けた取り組み

### (1) 小規模校

- ① 学校の統合
- ② 小規模特認校制

### (2) 大規模校

- ① 学校の分離
- ② 施設の増築

## 5 学校規模に起因する デメリット緩和に向けた手段

### (1) 小規模校

- ① 教員の加配置や複数校兼務
- ② 小中一貫教育、義務教育学校
- ③ ICT機器の活用

### (2) 大規模校

- ① 教員の加配置



## 西部地域



# 市立小・中学校の 将来のあり方について



～ おわり ～

ご清聴ありがとうございました

